

アルスこども創造プロジェクト「久居のものがたり（仮題）」

子どももたちとつくりあげる 地元の音楽劇

地域をつなぐ開かれた独自性のある文化芸術の創造拠点である

津市久居アルスプラザ。その活動の一環として、子どもたちとともに創作活動を行う

「アルスこども創造プロジェクト」を実施しています。

今年度は地元をテーマにした音楽劇『久居のものがたり』を上演予定です。

地元の歴史や文化を

子どもたちとともに劇に

市民の幅広いニーズにこたえ、新たな文化の交流・創造拠点施設として、2020年にオープンした津市久居アルスプラザ。演劇や音楽などを楽しみに訪れたことがある人も少なくないでしょう。そうした芸術鑑賞のほかに、津市久居アルスプラザは想像力・創造力・表現力、他者とのコミュニケーション力、地域愛の育みや将来の文化芸術を牽引する人材の育成を目指す「アルスこども創造プロジェクト」を実施。地域のプロの芸術家の指導のもと、子どもたちとともに創作活動を行う事業です。

2022年は「アルスこども創造プロジェクト」として初の公演『久居のものがたり』を実施。「久居」をテーマに、オリジナルの

脚本・音楽で描く音楽劇です。「久居のまちが立藩・命名・初代藩主入府から350年の節目を迎えたことから、久居の地域の歴史や文化について知ってもらおう機会としたい」と事業担当の真嶋陽さんは話します。「久居」の豊富な歴史・風土・文化を、演劇・歌・ダンスという3種類の芸術で描き出す。まだまだ上演は先ですが、「楽しみにしてほしい」と自信をのぞかせます。

10月10日の上演に向け オーディションを開催

『久居のものがたり』の上演に向け、今年3月21日にキャストオーディションを実施。小学4年生から高校1年生までの10人が参加しました。「市内外から申込みいただきました。緊張しながらも

事前の課題にも精一杯取り組んでいただいたようで、それぞれの個性を感じるオーディションとなりました」と真嶋さん。今後はキャストを集めた練習がはじまり、10月10日（月・祝）の公演を目指して『久居のものがたり』をつくりあげていきます。

5月頃に参加者を追加募集する予定。「1人でも多くの方に、この音楽劇に携わってほしい」と笑顔で話しました。募集に関する詳細は津市久居アルスプラザのウェブサイトで掲載予定です。

演出家の鳴海康平氏やソプラノ歌手の佐波真奈己氏、ダンサーの佐々木舞氏といったプロフェッショナルとともにつくりあげる地元ならではの音楽劇。そんな作品を参加者の一人として携わってみてはいかがでしょうか。



講師（ダンス）
佐々木 舞

関東国際高等学校演劇科入学時より本格的に芝居、ダンス、歌を始める。卒業後大阪に拠点を移し、2011年より山口陽子氏に師事。ROADFISH公演X～XIIIに参加。また2018年2019年とイベントにて、身体を通して心とつながる作品を制作し発表。その他は様々な愛ライブ公演、学校公演、ショー等多数出演。役者としても舞台を中心に表現者として多方面で活動。アルティ・アーティスト・プロジェクト(AAP)登録メンバー。



講師（歌）
佐波 真奈己

三重県立松阪高等学校卒業。国立音楽大学音楽学部声楽科卒業。これまでにソプラノ・ソリストとして多くのオーケストラと共演。またオペラ作品への出演も多数。2009年に初リサイタルを開催。また、自ら企画・構成・演出を手掛けた学校公演やサロン・コンサートは、分かりやすく、楽しくをモットーとした内容で好評を博している。三重県文化会館アウトリーチ講座において田村緑氏に師事。一方で合唱指揮者やヴォイストレーナーとしての活動も精力的に行っている。三重オペラ協会演奏会員。アンサンブル・マミー指揮者。うた屋「4人ぼっち」代表。



演出・講師
鳴海 康平

第七劇場、代表・演出家。Théâtre de Belleville。芸術監督。北海道紋別市生まれ。三重県津市在住。早稲田大学在籍中の1999年に劇団を設立。これまで国内25都市、海外5ヶ国11都市で作品を上演。ポーラ美術振興財団在外研修員(2012年・フランス)。2014年、三重県津市美里町に拠点を移設。民間劇場 Théâtre de Belleville を開設。津市みさとの丘学園校歌作詞。愛知県芸術劇場主催AAF戯曲賞審査員(2015年～)。名古屋芸術大学准教授(2021年～)。

Information

津市久居アルスプラザ

【住所】 津市久居東鷹跡町246
【電話】 059-253-4161
【開館時間】 8時半～22時
【休】 毎週火曜
www.tsuhisai-ars.jp/

HPIは
こちらへ /



久居アルスプラザ

